

平成27年度青森県公社等経営評価書

(平成26年度決算ベース)

法人名等		法人の自己評価(経営評価指標)			
14	(一社)青森県畜産協会				
所管課名	農林水産部畜産課				
決算状況 (単位:千円、%)					
出資	資本金	県出資額	県出資比率		
	513,360	185,000	36.0		
決算	前期一般正味財産増減額	当期一般正味財産増減額	一般正味財産期末残高		
	▲ 16,893	▲ 5,890	81,210		
資産	資産	負債	正味財産		
	4,065,437	3,626,554	438,882		
財務分析指標		上記についての所管課の意見・評価			
正味財産比率	経常比率	総資産当期経常増減率	県財政関与率	補助金収入率	<b>【目的適合性】</b> ○ 配合飼料価格の高止まりなど、畜産経営を取り巻く状況は厳しさを増しているが、国や県等が行う各種の経営支援対策を積極的に実施するなど、畜産経営の新たなニーズに対応しながら事業を展開している。
10.80	100.45	0.49	1.80	48.76	
受託等収入率	管理費比率	人件費比率	流動比率	借入金比率	
0.37	0.98	1.58	108.01	0.25	
経営評価結果		<b>【計画性】</b> ○ 一般社団法人化してからの期間が浅いこと等から、中期経営計画や見直し計画等について理事会において十分に検討する必要がある。今後は、経営計画と実績の差異分析、さらにはその分析に基づく経営計画の見直しなどの対応が必要である。			
評価区分	C:改善措置が必要				
<p>&lt;財務状況&gt;                      財務の状況については、平成22年度以降、5期連続して当期一般正味財産増減額が赤字となっている。</p> <p>&lt;経営状況&gt;                      法人が自己評価した経営評価指標の項目については、計画と実績の差異分析が徹底される等の取組により計画性が大幅に改善しているほか、その他の項目においてもおおむね妥当である。</p> <p>&lt;改善事項等&gt;                      当法人の赤字解消のためには、収入の確保が不可欠である。そのため、当該法人の有する特定資産の効果的な運用を検討していくことに加え、今年度の死亡牛の事務処理手数料新設など、自主財源の確保に向けた取組の強化が重要であり、今後も引き続き、新たな取組について検討していく必要がある。</p> <p>また、現状の経営状況に危機感をもち、当法人が今年度、自主的に中期経営改善計画を策定したことは、評価できるところである。</p> <p>一方で、当該計画に基づく改善に向けた取組は緒についたばかりであり、当該計画に掲げられた取組を着実に実行していくためには、当該計画の進捗状況を定期的に把握・検証し、必要な見直し等を図っていくことが重要であり、PDCAサイクルを活用した仕組みの構築を求めたい。</p> <p>なお、経営改善に取り組むことと併せ、引き続き、当法人の実施する事業の公共性に鑑み、公益認定に向けた取組を進めることが必要と考える。</p>					
<p><b>【組織運営の健全性】</b> ○                      中長期的な視点にたち、持続的な協会運営のための人材育成が必要不可欠であることから、職員の技術向上等のスキルアップが必要である。また、業務間の配置転換等により、組織の活性化を図るなどの措置も検討する必要がある。</p> <p><b>【経営の効率性】</b> ○                      人件費総額については、中長期的なシミュレーションを実施し、適正な人件費水準を見極め、経費削減に取り組む必要がある。また、各項目ごとの支出額を分析し、削減目標を設定するなどの取組が必要である。</p> <p><b>【財務状況の健全性】</b> ○                      財源の多くが、各種の補助事業及び委託事業であり、引き続き積極的な活用が求められる。また、自主財源の確保に努め、財務状況の健全性を保つような取組が求められる。</p>					